

理 工 学 部

< 理念と目標 >

* 理念

岩手大学工学部は学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、理工学分野およびその周辺の専門知識を有し国際的に活躍出来る人間性豊かな人材の育成と、科学技術分野における基礎研究と応用研究を積極的に推進することによって自然界の摂理の解明と技術革新の推進に貢献します。また、これらの教育研究活動を地域社会との連携を通して実践し、地域社会とともに生きる工学部を目指します。

* 教育目標

工学部は、以下のような特徴の人材を育成することによって地域社会や国際社会の発展に貢献することを目指します。

- (1) 幅広い教養と豊かな人間性を基礎として、理工学分野における基礎学力と国際水準を満たす専門的知識・専門技術、および倫理性を有し、新しい発想で現代社会の諸課題に積極的に取り組むことのできる人材の育成
- (2) 獲得した知識や技術を様々な科学技術分野に役立てることを通して、地域や国際社会の様々な問題解決に貢献できる人材の育成
- (3) 理工学的課題探求心と理解力に基づき、自然科学の様々な現象を根源的かつ包括的に捉えながら人間社会と自然環境の共生を図り、多様な課題の解決への取り組みを通して地域社会と国際社会の持続的発展に貢献できる人材の育成

* 研究目標

工学部は近年の科学技術の飛躍的進歩に基づき環境問題、エネルギー問題、巨大災害発生への備え、および震災からの復興や地域振興などに対応するために、理工学の幅広い分野における基礎研究から商品化研究までの広範な研究を積極的に推進し、地域社会や国際社会の発展に貢献することを目指します。

- (1) 理工学分野およびその周辺分野の基礎研究による自然のしくみの探求と技術革新の推進、およびそれらの研究成果に基づく新しいシーズの発掘
- (2) 地域社会や国際社会からのニーズの発掘
- (3) 応用研究や実用化研究の推進

* 社会貢献目標

工学部は、教育・研究活動の成果を地域社会および国際社会に展開し、これらの発展に貢献することを目指します。

- (1) 産学官民の連携による産業振興への対応
- (2) 環境および福祉問題における諸課題への対応
- (3) 生涯学習社会における諸問題への対応

< 教育目的 >

工学部は、持続可能な社会づくりのための理工学の構築と実践を理念として、理工学及びその周辺の専門知識を有し地域や国際社会で活躍できる人間性豊かな人材ならびに科学技術の調和的発展に貢献できる技術者を養成することを目的とする。

< 修得すべき能力 >

工学部では、その教育プログラムを通して、学生が以下のような能力を習得することを目指す。

- (1) 持続可能な社会づくりを見据えた幅広い理工学的基礎能力
- (2) 理工学的課題を解決する専門的能力
- (3) 地域社会や国際社会と積極的に交流することができる理解力やコミュニケーション能力